

平成14年度通常(第2回)理事会議事録

日 時 平成14年8月3日(土) 10:30~16:30

場 所 岸記念体育会館 4階 401会議室

出席理事(敬称略、順不同):

山崎達光(委任:戸田邦司)、井手正敬、小田切満寿雄(委任:戸田邦司)、戸田邦司、
松本富士也、小田泰義、栗田栄一郎(委任:中山明)、高橋順一(委任:中山明)、岩田
直幸、栗原博、斉藤威、清水昭(委任:戸張房子)、鈴木保夫、富田稔、戸張房子、名取
正精(委任:昇隆夫)、平賀威(委任:富田稔)、広瀬興郎、松田健次郎、三井祥功(委任:
中山明)、倭千鶴子、市原恭夫(委任:富田稔)、福田義一(委任:富田稔)、昇隆夫、都築
勝利(委任:戸田邦司)、水谷益彦(委任:昇隆夫)、中山明、柴田友義、西原敏文、古谷
正宏、秋山雄治(委任:戸田邦司) 以上、31名、内委任状13名

欠席理事:浪川宏、岩田行史 以上、2名

出席監事:石崎忠朗 以上、1名

欠席監事:青淵隆督 以上、1名

ワザバ:武村洋一事務局長、川北達也ルール副委員長

議事の経過及び結果

(定足数の確認)

理事33名、出席者31名(内委任状13名)により、寄附行為第29条に基づく定足数を充足しており、本理事会は成立。

(議長による開会宣言)

山崎達光会長が病氣療養中のため、寄附行為第19条に基づいて戸田邦司副会長が議長となり、平成14年度通常(第2回)理事会の開会を宣言。

(議事録署名人)

本理事会の議事録署名人としては、議長指名により、栗原博・鈴木保夫の両理事が任命された。

<議案事項>

(1) レース委員会副委員長就任について

末木レース委員長から、池田栄宏レース副委員長の辞任に伴う後任者として、市原恭夫氏の推薦書が提出された旨、戸張レース副委員長より説明があり、異議なく承認された。

(2) 最高審判委員のプロテスト委員会委員就任について

柴沼ルール委員長より、平成14年8月12日~16日に兵庫県芦屋市で行なわれる「第29回全日本レーザ級選手権」に秋山福夫氏が大会プロテスト委員長に就任することについては、JSAF 運営規則(第4章 第1節)の資格制限 第11条に

に基づき、承認いただきたいとの申請書が提出され、承認された。

(3) 共同主催・公認・後援願いについて

<公認願い> 「第29回全日本自治体職員ヨット競技大会」 「全日本F」級ヨット選手権大会」 「第30回全日本ホビー16級選手権大会」 「第17回スナイプ級マスターズ全日本選手権大会/第37回スナイプ級女子全日本選手権大会」 「第19回全日本女子」24級選手権大会」 「第31回全日本ミラー級選手権大会」 「第18回全日本OP級チームレース選手権大会」 「第9回全日本学生ヨット個人選手権大会」 「全日本トッパー級選手権大会」 「第67回全日本学生ヨット選手権大会」 以上10件

<共同主催願い> 「全国高等学校総合体育大会/第43回全国高等学校ヨット選手権大会」 以上1件

<後援願い> 「第27回全国少年少女ヨット大会」 「第11回トウキョウスカップヨットフェスティバル」 「横浜フローティングヨットショー」 「第5回横浜ベイサイドマリーナオープンヨットレース」 以上4件

上記総計15件の申請があり、承認された。

(4) 理事・会長選出について

小田専務理事より、常任委員会で纏めた「平成15年度理事選出方法(案)について」の説明があり、議論された。

主たる議論はNJ比率について今回は2対1を原則とすること、女性枠、身障者枠、階層別などの枠を設けなくて全国区選挙に立候補していただくことを基本にする。などであり、9月の臨時評議員会には、本案を整え提出することで承認された。

(5) 全日本運営規則(最終案)について

戸張レース副委員長より、別紙資料に基づき説明があった。ウインドサーフィン(ボードセーリング)は、ディンギー系の区分に含め、又模型ヨットの補足を入れていくことで、承認された。

(6) 運営規則の見直し(総則・組織)

富田総務担当理事より、資料に基づき提案された。また事前配布資料に基づき提出された水谷理事の意見書も合わせて審議された。連盟に加盟する加盟団体の義務について規則として定めていくことは当然のことであり、特に加盟団体に所属する会員の連盟メンバー登録とその連盟への登録料の支払いが滞る事態が多く見受けられ、原則はしっかり決めておくべきであるとの全体意見であった。しかしながら過去の経緯から、メンバー登録数がまだ20名に満たないところなどあるため、その団体については2年程度の猶予期間を認めて、平成15年4月01日より施行することで採決された。実務上の連盟登録メンバーカード発行の手順やメンバー登録台帳などの整備、メンバー登録費用の徴収業務などが連盟から加盟団体への委任事項となることから、詳細の取決めについての細則を総務委員会で作成する。

(7) 叙勲褒章推薦について

栗原総務副委員長より、米澤一氏が連盟役員20年以上の条件を満たしており、常任委員会の承認を受け、日本体育協会に提出した旨、説明報告があり承認された。

(8) 補正予算(案)について

鈴木会計担当理事より、別紙資料に基づき説明があり、承認された。

(9) JSAF 外洋レース規則2002改訂(案)について

川北ルール副委員長より、別紙資料に基づき説明があり、本件の扱いは外洋レースマネジメントマニュアルと一緒に再度提出することとなった。

(10) 特別加盟団体登録について

富田総務担当理事より、「特別加盟団体登録承認プロセスについて」と「現在登録申請状況」の説明があった。クラブ等の団体の登録について定められた条件を満たす場合については、承認プロセスの簡略化と承認期間の短縮の為に事務局受付 総務委員会委員長の審査 総務担当理事の確認 専務理事の承認 の一連の処理を持って認可し、尚認可後の報告については次回理事会において報告事項として提出することとすることと、条件不備の場合には理事会承認としたい旨提案があった。本件につき議論の結果、特別加盟団体の承認は連盟の重要事項であり総務担当理事の最終確認を得て、「理事会承認を受ける必要がある」とこととなった。又、現在6団体の登録申請書が提出され、審議の結果「全日本実業団ボードセーリング連盟」「東京ヨットクラブ」「日本ヨットマッチレース選手会」の3団体が承認された。その他の「全日本学生外洋帆走連盟」については、「全日本」という名前の定義について再確認し、次回理事会に再提出することになった。「ひびき帆走クラブ」は、会員数の規程(20名)が満たされておらず、「大阪北港ヨットクラブ」については、規程の書類が不備のため、加盟は見送りとなった。

< 協議事項 >

(1) JSAF の専決規定(案)

富田総務担当理事より、水谷理事提案の専決規定(案)について理事会で審議を効率よくする為にも、本件を十分検討していただき、次回の理事会で審議いただきたい旨の要請があった。

< 報告事項 >

(1) 本年度8月1日現在のメンバー登録状況・目標数

平成14年度8月1日現在の登録数は、9,487名で内訳につき、加盟団体(県連)6,042名、(外洋)3,093名、艇種別団体352名であるとの報告があった。山梨県・長野県・福井県・奈良県・和歌山県・鳥取県・山口県・徳島県・の8県がいまだに登録数が0名であり、各水域担当者に状況を確認する事となった。今年度目標数が20名以下のところがあるところも確認必要となった。

(2) 高知国体・静岡国体リハーサル中央派遣役員について

昇国体委員長より、第57回高知国体中央派遣役員レース委員会関係推薦者15名とプロテスト委員会推薦者16名、合計31名が報告された。引き続き第58回静岡国体リハーサル中央派遣役員については、レース委員会推薦者15名とプロテスト委員会推薦者7名、合計22名の報告があり同意された。

(3) 国体功労者表彰対象者推薦について

栗原総務副委員長より、資料に基づき「(財)日本体育協会国民体育大会功労者表彰基準について」の説明があった。各JSAF役員・加盟団体等に通知をだしており、8月12日(月)に総務委員会で取り纏め提出する旨報告があった。

(4) 評議員変更について

小田専務理事より、外洋内海元評議員の柴田友義氏がJSAF理事に就任いたしましたので、後任者として猪上忠彦氏を残余期間の評議員に補任する届け出が出ている旨報告があり、同意された。

(5) JSAF ゴールドプラン(初版)について

(6) 2002年度ISAF年次総会におけるJSAF提案議題の件

(7) ISAF World Sailing Game 総括報告

(8) 事業開発委員会業務報告

(9) 第2回Enjoy Sailing Day 報告

(10) 日本一周フラッグリレー中間報告

(11) 平成14年度スポーツ振興くじ助成金(追加募集)について

(12) 「駿河湾横断ファミリーヨットレース」会長名義使用依頼について

(13) Tasaki Osaka Cup 2003のカテゴリーC大会の件

(14) 臨時評議員会について

日時：平成14年9月7日(土) 13:00~15:00

場所：岸記念体育会館 地下3階(大講堂)

内容：理事・会長選出について 補正予算(案)について

(15) 平成14年度第1回評議員会議事録(案)

本件の内容は、既に議長の森信和氏と議事録署名人の鈴木修氏・榛葉克也氏からは、承認されていることが報告された。

(16) 平成14年度通常(第1回)理事会議事録(案)

前理事会議事録(案)は戸田議長、福田・倭議事録署名人より承認されていることが報告された。

(17) JSAF 本部事務局夏季休暇について

8月15日(木)・16日(金)の2日間本部事務局を閉鎖する旨連絡があった。

(18) 計測委員会について

(19) 競技力向上委員長交代について

松田健次郎氏から、山田敏雄氏に競技力向上委員長を交代したい旨、届けが提出され、同意された。

(20) アジア大会日本代表選手候補選手団について

(21) ルール委員会報告

(22) その他

(ア) 全日本学生ヨット連盟要望書について

以上

平成14年度通常(第2回)理事会は、上記の通り議決ならびに承認されたことを確認し、議事録署名人は以下に記名捺印する。

平成14年8月3日

議 長 副 会 長 戸 田 邦 司

議事録署名人 理 事 栗 原 博

議事録署名人 理 事 鈴 木 保 夫